

公益社団法人兵庫みどり公社と農地中間管理事業

公益社団法人兵庫みどり公社は、兵庫県の農林業施策を円滑に推進するため、県・市町・森林組合等の出資により設立された公的機関です。

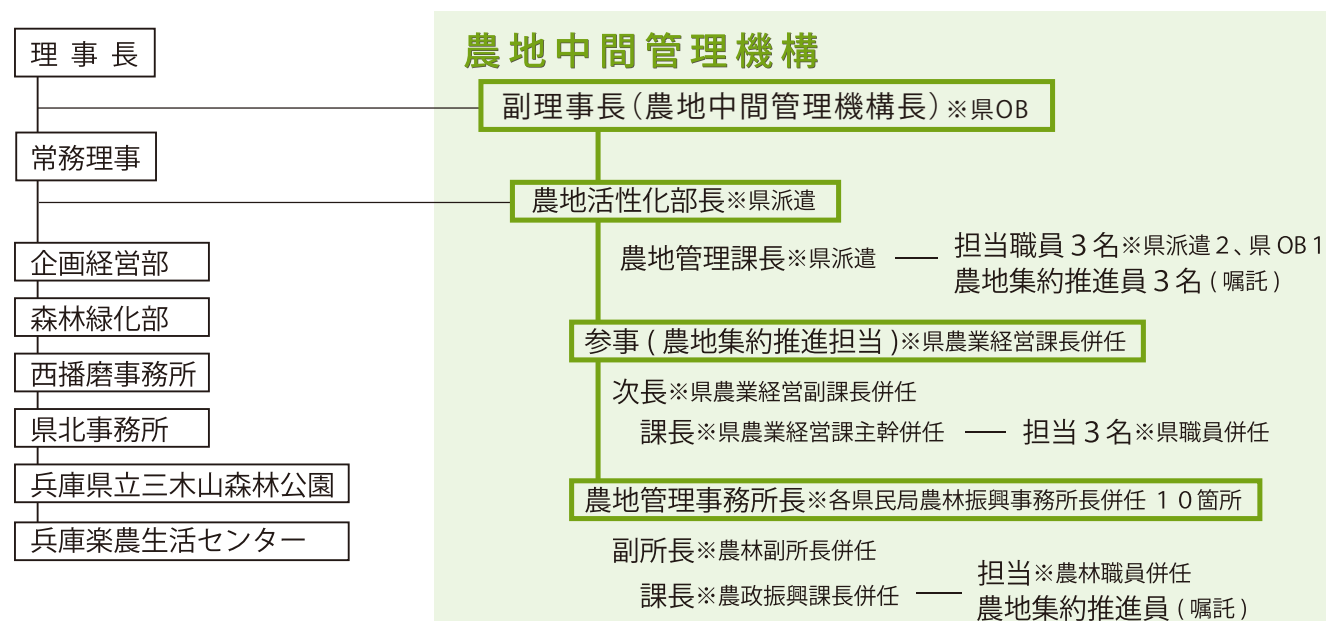
平成26年4月に農地活性化部を再編整備し、農地中間管理事業の推進に関する法律第4条の規定に基づき、兵庫県知事から県内唯一の農地中間管理機構に指定されました。

機構の指定に当たっては、

- 公社に専任の役員ポスト（副理事長）を新設、農地活性化部長、農地管理課長、担当職員を県から派遣
- 県の本庁主務課である農業経営課の課長、副課長、班長、主幹、担当職員を公社職員として併任
- 県民局農林（水産）振興事務所を公社農地活性化部が管轄する農地管理事務所として位置づけ、所長、副所長、農政振興課長、担当職員を公社職員として併任
- 本社及び農地管理事務所に常勤の農地集約推進員（嘱託）を配置

など県・公社一体となった推進体制を整備し、農地中間管理事業を運営しています。

公益社団法人 兵庫みどり公社



— 農地中間管理機構 —

公益社団法人 兵庫みどり公社

〒650-0011 神戸市中央区下山手通5丁目7-18（兵庫県下山手分室内）
TEL:078-361-8114（農地活性化部農地管理課） FAX:078-361-8128

ホームページ □ <http://www.forest-hyogo.jp>

● 農地管理事務所（各県民局農林振興事務所内に設置） ●

神戸農地管理事務所 TEL: 078-361-8550
阪神農地管理事務所 TEL: 079-562-8849
加古川農地管理事務所 TEL: 079-421-9159
加東農地管理事務所 TEL: 0795-42-9421
姫路農地管理事務所 TEL: 079-281-9285

光都農地管理事務所 TEL: 0791-58-2194
豊岡農地管理事務所 TEL: 0796-26-3697
朝来農地管理事務所 TEL: 079-672-6878
丹波農地管理事務所 TEL: 0795-73-3791
洲本農地管理事務所 TEL: 0799-26-2083



農地中間管理事業



コンテンツ

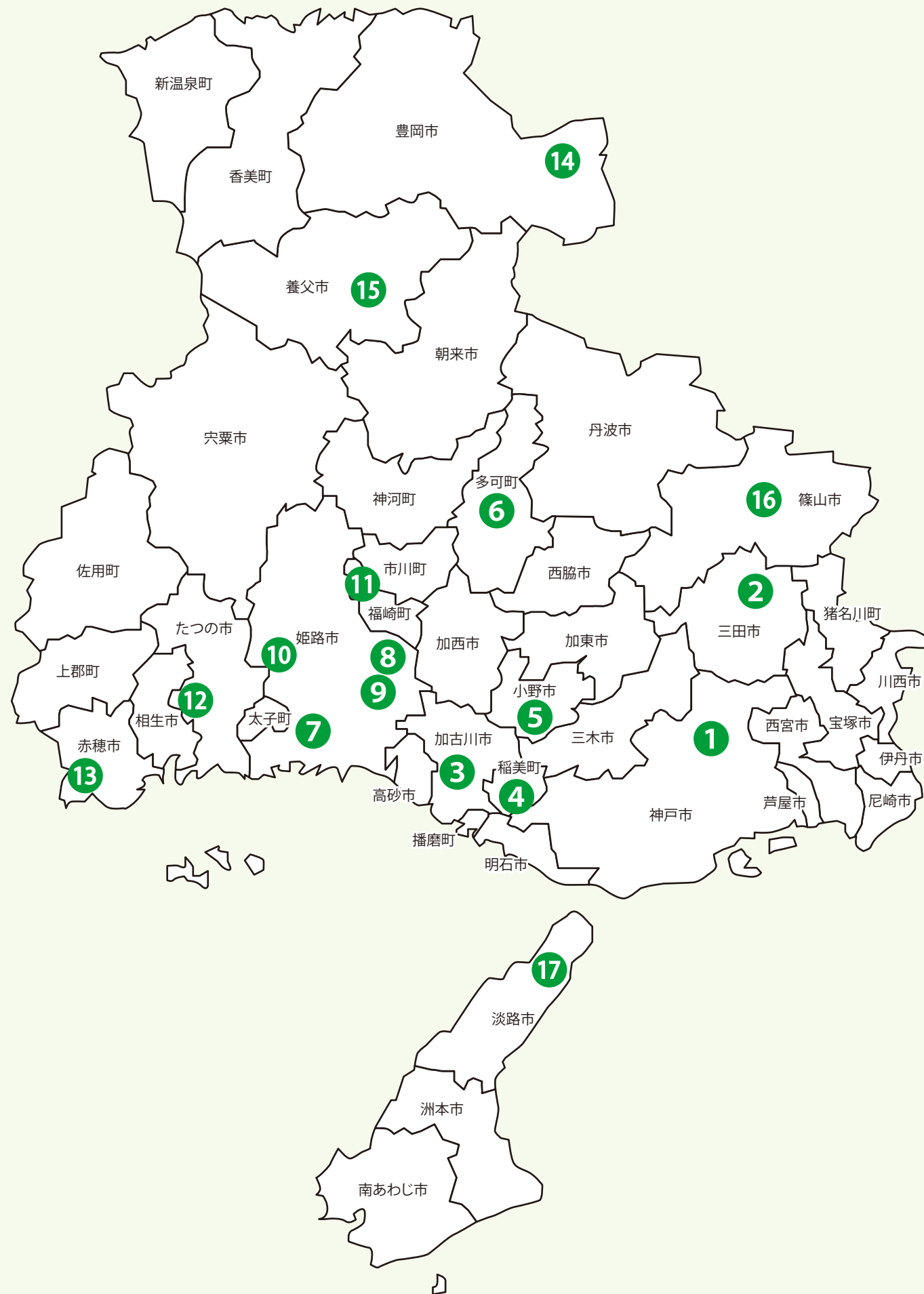
- 1 農地中間管理事業とは……………1
- 2 農地中間管理事業の事務手続きの流れ……………2
- 3 農用地等借受希望申込書……………4
- 4 貸付希望農用地等登録申出書……………6
- 5 取組事例……………8

取組事例

事例 01	神戸市北区八多地区 (農業委員会との連携による遊休農地の解消)	10
事例 02	三田市十倉地区 (集落営農組織の法人化による集積・集約化)	11
事例 03	加古川市八幡町地区 (集落営農法人と大規模経営法人等との利用調整)	12
事例 04	稲美町中新田地区 (集落営農組織の法人化による集積・集約化)	13
事例 05	小野市古川地区 (担い手のリタイヤを契機とした集積・集約化)	14
事例 06	多可町山野部地区 (第3セクターによる農地の有効活用)	15
事例 07	姫路市宮内地区 (農業参入企業、認定農業者等の4者での集約化)	16
事例 08	姫路市香寺地区 (広域集落営農の法人化による集積・集約化)	17
事例 09	姫路市曾坂地区 (JA出資法人による集積・集約化)	18
事例 10	姫路市下伊勢区 (集落(農会)と参入企業が連携した集積・集約化)	19
事例 11	福崎町西大貫地区 (新規就農者への集積・集約化)	20
事例 12	たつの市小犬丸地区 (地域内担い手のエリア別調整による集約化)	21
事例 13	赤穂市福浦地区 (地域外担い手のエリア別調整による集約化)	22
事例 14	豊岡市但東地区 (大規模経営法人による集積・集約化)	23
事例 15	養父市能座地区 (農業参入企業による中山間棚田での集積・集約化)	24
事例 16	篠山市口坂本地区 (大規模経営法人による集積・集約化)	25
事例 17	淡路市野島常盤地区 (地元企業の農業参入による遊休農地の解消)	26

取組地区位置図

●番号は事例の地区を表示しています。



事例 01

神戸市北区八多地区 (農業委員会との連携による遊休農地の解消)

地区概要

神戸市北区の中心に位置し、水稻や野菜作、観光農業が行われている地域。集落営農組織が中心となって農作業を受託しているが、未整備田まで十分に手が回らない状況で遊休農地の解消が課題となっている。
(農地面積 32.6ha 農家戸数 49戸)

きっかけ

・農地法に基づく利用意向調査で農地中間管理事業活用の希望があった農地について、農業委員と連携してマッチングに取り組んだ。

工夫

・所有者や地元の調整に農業委員の積極的な支援が得られたことで、地域外の担い手への円滑な貸付が実施できた。
・農業委員が周辺の遊休農地所有者へも働きかけを行い一団の農地を貸し付けることができた。

成果

・農業委員と機構推進員が連携することで、地域内で借り受け手がなかった遊休農地の解消につながった。

実施前



実施後



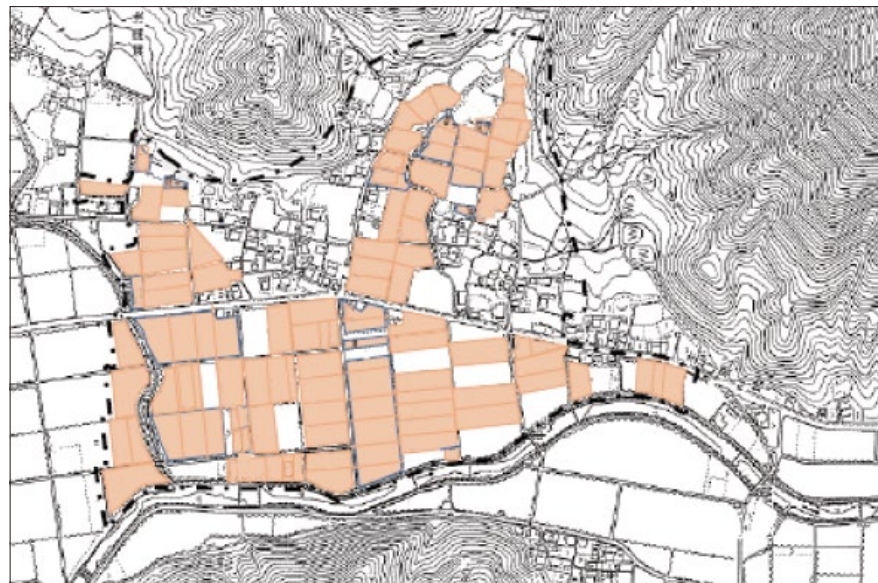
事例02

三田市十倉地区 (集落営農組織の法人化による集積・集約化)

地区概要	三田市東部に位置し、集落営農組織が水稻を中心に営農。環境創造型農業や企業と連携した体験農業、黒大豆枝豆オーナー制度などに取り組んでいる地域。 (農地面積 25.0ha 農家戸数 30戸)
きっかけ	・地域農業を維持・発展させるため集落営農組織を法人化し、人・農地プランの見直しと併せて、農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化に取り組んだ。
工夫	・集落営農の法人化や農地利用図の作成に向けて徹底した話し合いを行い、集落と営農組織の意思統一を図った。 ・市、JA、普及センター、機構が連携して集落の検討会に参画することで円滑に手続きを行うことが出来た。
成果	・集落営農を法人化し、長期の貸借契約で地域の大半の農地を集積・集約化することで、経営の安定化につながった。 【機構貸付面積 20.0ha (機構集積率80%)】

実施前

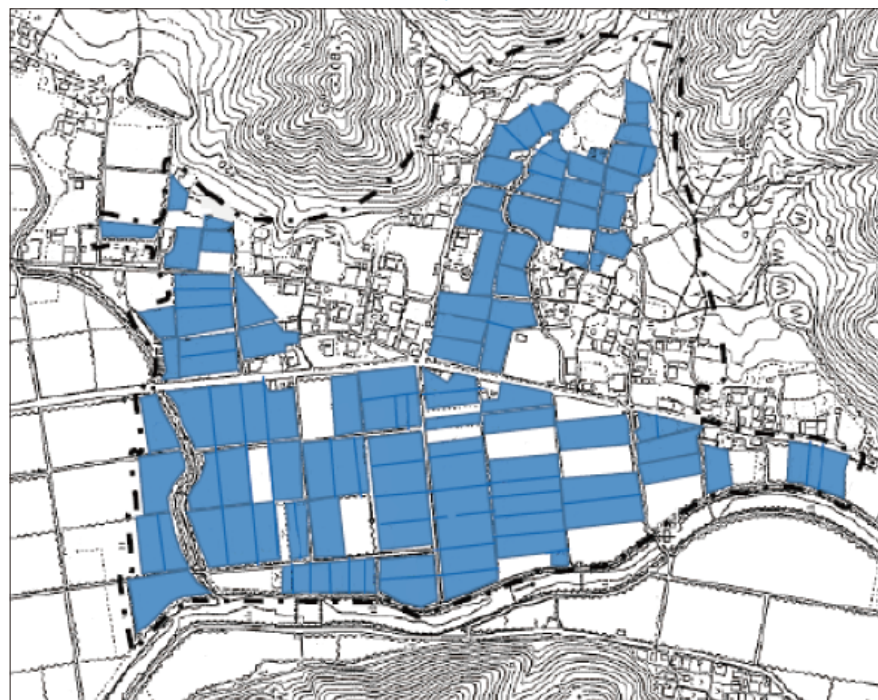
〈耕作状況〉
■集落営農組織



実施後

〈貸付先〉
■集落営農法人

集落営農組織の法人化に合わせ農地中間管理事業を活用した長期の権利設定を実施



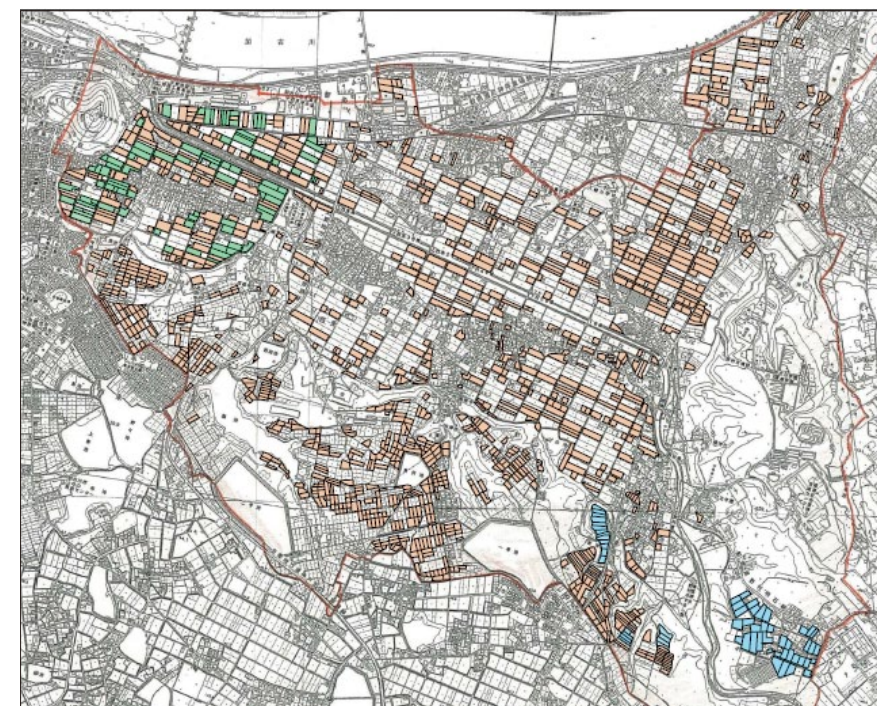
事例03

加古川市八幡町地区 (集落営農法人と大規模経営法人等との利用調整)

地区概要	加古川市の中東部に位置する6つの集落で構成し、県最大規模の集落営農法人が中心となり、水稻や麦、大豆を中心とした営農が行われている地域。 (農地面積 330ha 農家戸数 642戸)
きっかけ	・八幡地区全域を範囲とする土地改良区が中心となり集落間の調整を行い、農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化に取り組んだ。
工夫	・人・農地プランで地区外の法人、認定農業者も中心経営体に位置づけ、集落営農法人と他の担い手が集積・集約するエリアを明確にした。
成果	・10年間の貸借契約で安定的に農地確保が可能となり、農地所有者との農地貸借に統一的な基準ができた。 【機構貸付面積 74.2ha(機構集積率22%)】

実施前

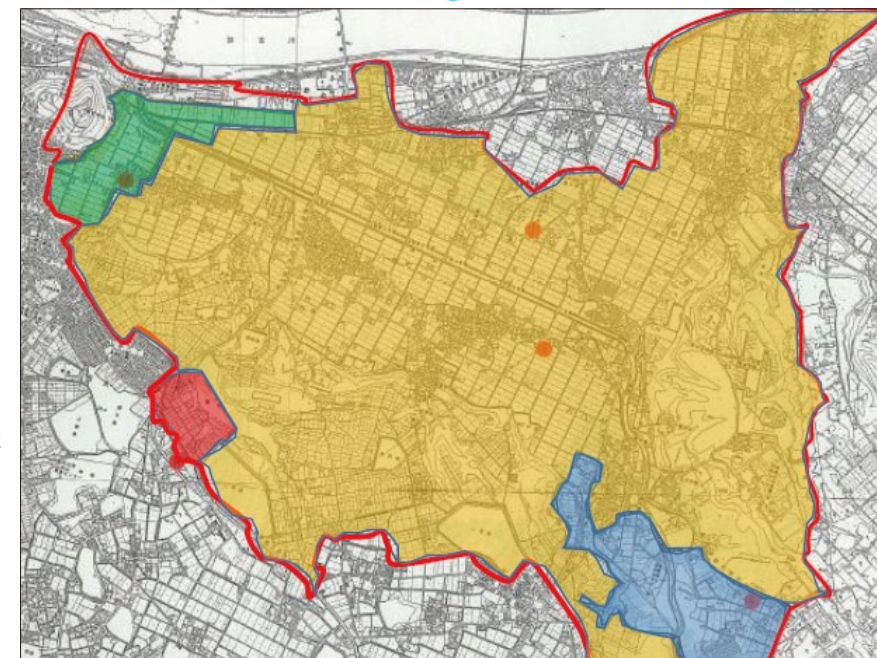
〈耕作状況〉
■集落営農法人A
■大規模経営農家B
■大規模経営法人C(地区外)



実施後

〈集積・集約エリア〉
■集落営農法人A
■大規模経営農家B
■大規模経営法人C(地区外)
■大規模経営農家D(地区外)

地区外の認定農業者も参画したエリア分けを実施



事例 04

稲美町中新田地区

(集落営農組織の法人化による集積・集約化)

地区概要

稲美町の北西部に位置し、ため池を水源として、水稻、麦を中心に生産する地域。地区のほぼ全域では場整備が実施されている。
(農地面積 27.0ha 農家戸数 73戸)

きっかけ

・人・農地プランを作成し、集落営農組織の法人化と合わせて、農地中間管理事業を活用した集積・集約化に取り組んだ。

工夫

・集落営農組織の法人化に際して、幅広い農業経営を行うために株式会社を選択。
・人・農地プランにより、法人が集積・集約化するエリアを明確にして作業の効率化を図った。

成果

・長期の契約期間で安定的に農地の確保が可能となった。
・法人化に伴い、計画的な作付けや機械化により農作業がスムーズに行えるようになった。
【機構貸付面積 8.13ha (集積率30%)】

実施前

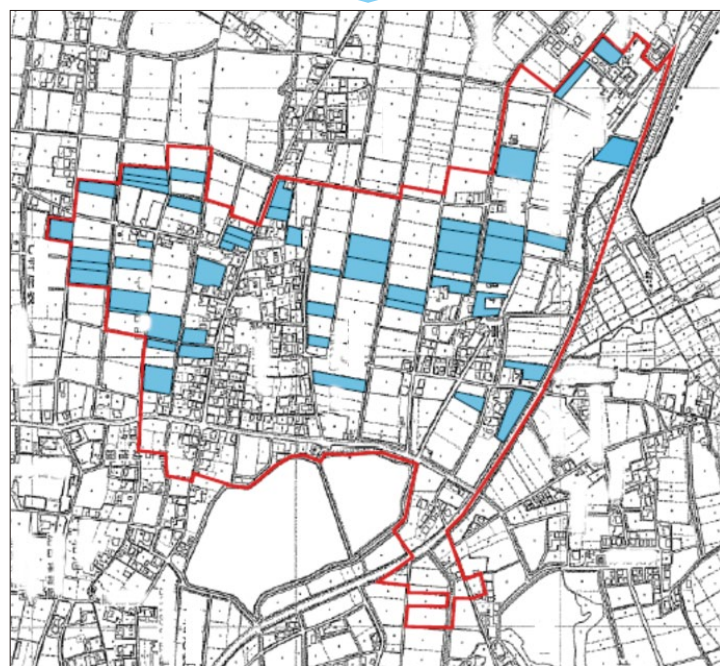
〈耕作状況〉
■集落営農組織



実施後

〈貸付先〉
■集落営農法人

集落営農組織の法人化と併せ農地中間管理事業を活用した長期の権利設定を実施



事例 05

小野市古川地区

(担い手のリタイヤを契機とした集積・集約化)

地区概要

小野市の北部に位置し、水稻を中心とする地域。近年、離農者の増加や高齢化が進み休耕田が増加している。
(農地面積 48.0ha 農家戸数 102戸)

きっかけ

・人・農地プランの作成を契機に農地中間管理事業を活用し、担い手ごとのエリア分けを行い、農地の集積・集約化に取り組んだ。
・担い手のリタイヤを契機に新たな担い手を含めたエリア分けの見直しを行い、農地中間管理事業の移転手続きにより、一層の集約化に取り組んだ。

工夫

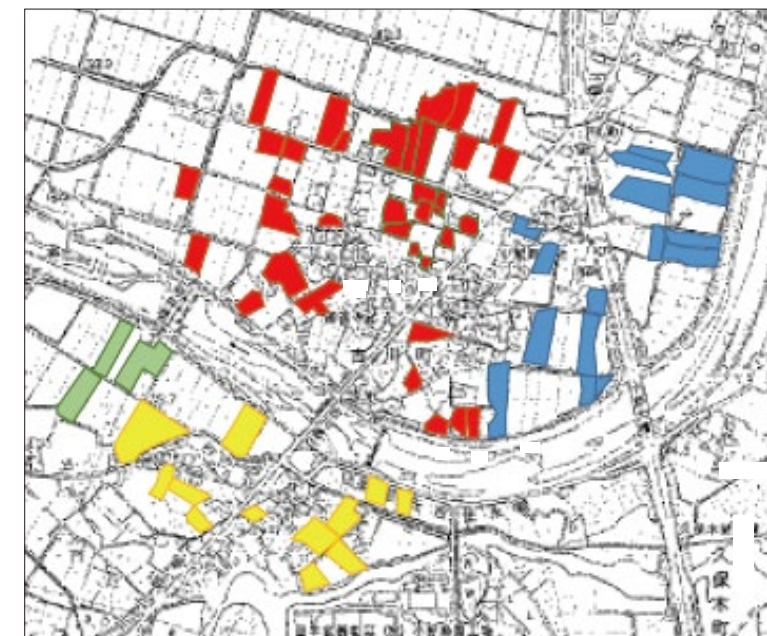
・地域の担い手農家で話し合いを行いエリア分けの調整を行った。
・農地のマッチングについては、集落の代表者と連絡・調整を密に行うことで円滑な実施に努めた。

成果

・予め地区のエリア分けを行っていたことで、担い手がリタイヤした際も円滑に他の担い手への土地利用調整を行うことができた。
【機構貸付面積 13.5ha (機構集積率28%)】

実施当初

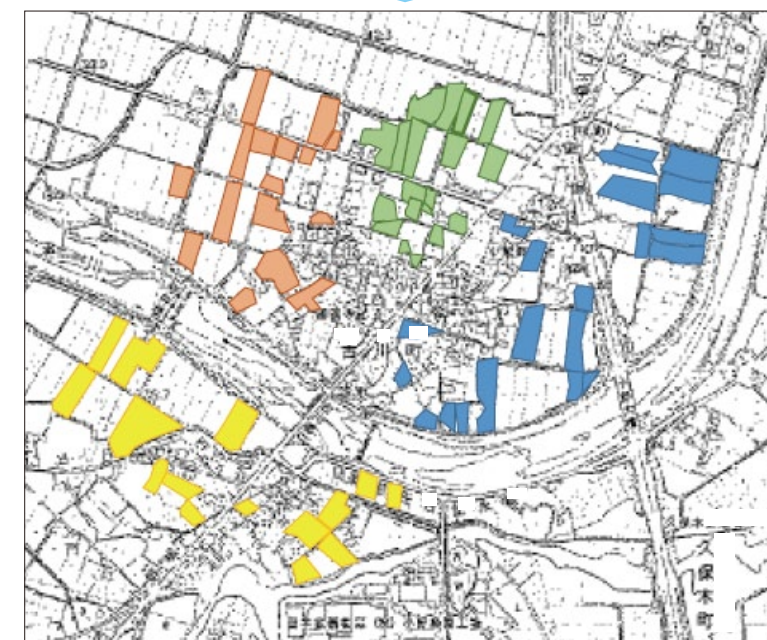
■大規模経営農家A
■規模拡大志向農家B
■規模拡大志向農家C
■規模拡大志向農家D



移転後

〈貸付先〉
■大規模経営農家A(リタイヤ)
■規模拡大志向農家B
■規模拡大志向農家C
■規模拡大志向農家D
■規模拡大志向農家E(新規参入)

担い手のリタイヤを契機とした集積・集約の進展



事例06

多可町山野部地区 (第3セクターによる農地の有効活用)

地区概要	多可町のやや北部に位置し、水稻や黒大豆を生産。地区の担い手は少なく、農地の受け手が減少している。 (農地面積 28.0ha 農家戸数 31戸)
きっかけ	・地区内で借受者が見つからなかった農地を農地中間管理事業を活用して、町が出資する第3セクターへのマッチングに取り組んだ。
工夫	・野菜の農作業受託経験がある第3セクターがたまねぎなどの作付けを行うことで山際的水稻作付けが難しい農地を有効活用。
成果	・地区内の担い手が管理できない農地を第3セクターが管理し、農地の有効活用と遊休農地の発生抑制に貢献。 【機構貸付面積 0.65ha (機構集積率2.3%)】

実施前



実施後

〈貸付先〉
■ 第3セクター

地域内の担い手が管理できない農地を第3セクターが有効活用



事例07

姫路市宮内地区 (農業参入企業、認定農業者等の4者での集約化)

地区概要	姫路市の南西部で市街化区域に囲まれた水田地帯。ほ場整備の完了を契機に農会が中心となって農地の利用調整に取り組んでいる地域。 (農地面積 29.2ha 農家戸数 72戸)
きっかけ	・大規模農家のリタイアを機に、規模拡大志向農家と農業参入を希望する企業も含めて、農地中間管理事業を活用した農地の利用調整に取り組んだ。
工夫	・農業委員(農会長)の強いリーダーシップと集落役員の協力体制。 ・アンケート調査等により、農地中間管理事業活用を集落内農家に徹底。 ・貸付先の栽培作物に合わせた農地の集積・集約化。
成果	・集落内農地を4つの経営体に集約化。 ・毎年、人・農地プランの見直しを行い、離農する農家の円滑な農地貸付を実施。 【機構貸付面積 17.2ha (機構集積率59%)】

実施前

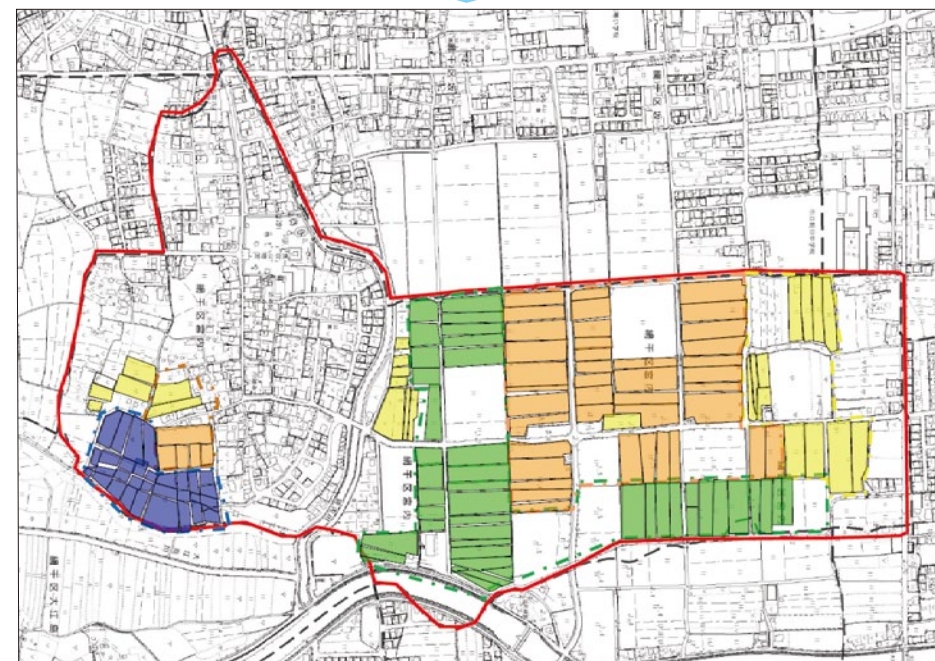
〈耕作状況〉
■ 大規模経営農家A(集落外)
■ 規模拡大志向農家B(集落内)



実施後

〈貸付先〉
■ 大規模経営農家A(集落外)
■ 規模拡大志向農家B(集落内)
■ 農業参入企業C(新規参入)
■ 農業参入企業D(新規参入)

参入企業とのエリア分けによる集約化



地区概要	姫路市北東部に位置し、第2種兼業農家が大部分の地区で、水稻を中心に小麦、大豆等の土地利用型農業を実施。 (農地面積 330ha 農家戸数 878戸 ※12集落の合計)
きっかけ	- 香寺地区の15集落営農で組織する研究会において法人化設立準備委員会を設立し、集落合意が整った9営農組合で法人を設立した。 - この法人への一層の農地の集積・集約化を進め、組織強化を図るために農地中間管理事業に取り組んだ。
工夫	集落での合意形成が得られるように事業内容、進め方、協力金の使途等について説明資料を作成し、研究会及び農会長等へ説明を行った。
成果	- 事業活用を契機に新たに3営農組合が加入し、12集落の広域集落営農法人となった。 - 法人への集積率が上がったため、土地改良事業における受益者負担が軽減でき土地改良事業への取り組みがしやすくなった。 【機構貸付面積205ha (機構集積率62%) ※12集落の合計】

香寺地区内の代表集落

※この他11集落で
集積・集約化

実施前

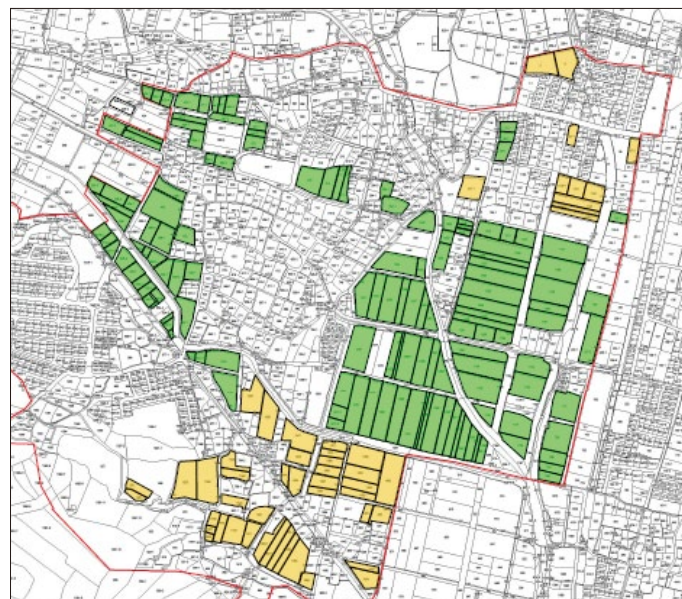
〈耕作状況〉
■ 集落営農法人A
■ 規模拡大志向農家B



実施後

〈貸付先〉
■ 集落営農法人A
■ 規模拡大志向農家B

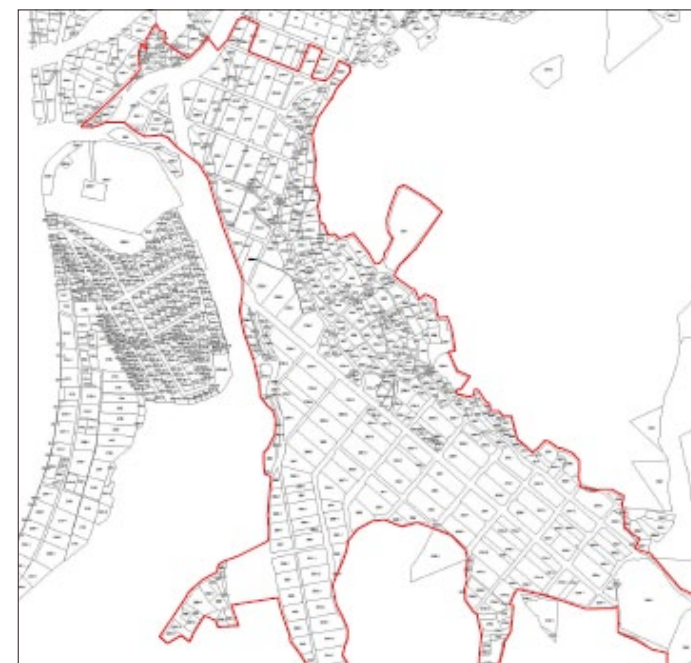
広域集落営農法人への
集積・集約化及び規模拡大
志向農家とのエリア分
けを実施



地区概要	姫路市の東北部、豊富町の南西部に位置し、ため池を水源にしている地区。近年、不作付地が年々増加傾向にある。 (農地面積 24.0ha 農家戸数 54戸)
きっかけ	地区内の担い手の規模縮小を機会に集落での話し合いを行い、農地中間管理事業を活用して、JA出資法人へ農地の集積・集約化に取り組んだ。
工夫	畦畔の草刈り、水管理については、集落内での話し合いにより、耕作者が草刈り、地元農会が水管理を実施。
成果	- JA出資法人へ農地を集積・集約することにより、耕作放棄地の増加を未然に防ぐことができた。 - 従来は個別に獣害対策をしていたが、JA出資法人への貸付を機に地元、JA出資法人と共同で集落全体の防護柵の設置を実施した。 【機構貸付面積 12.1ha (機構集積率50%)】

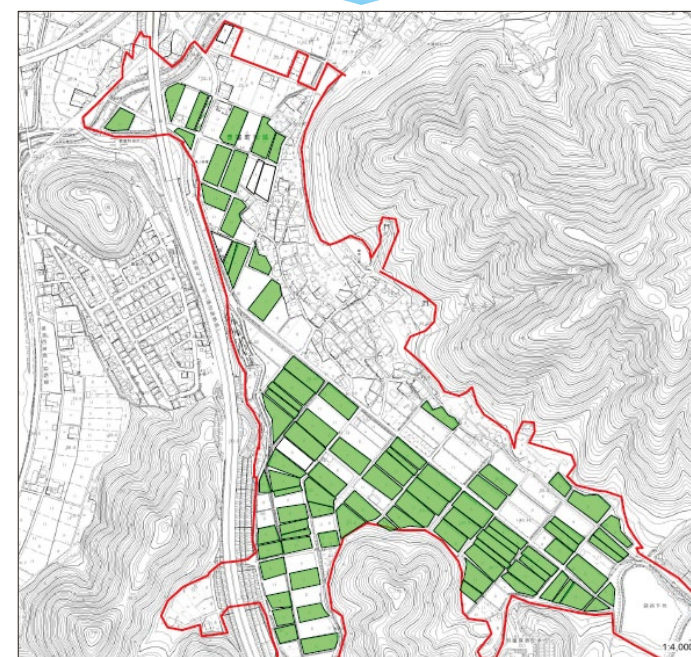
実施前

担い手の減少に
より不作付地が
増加



実施後

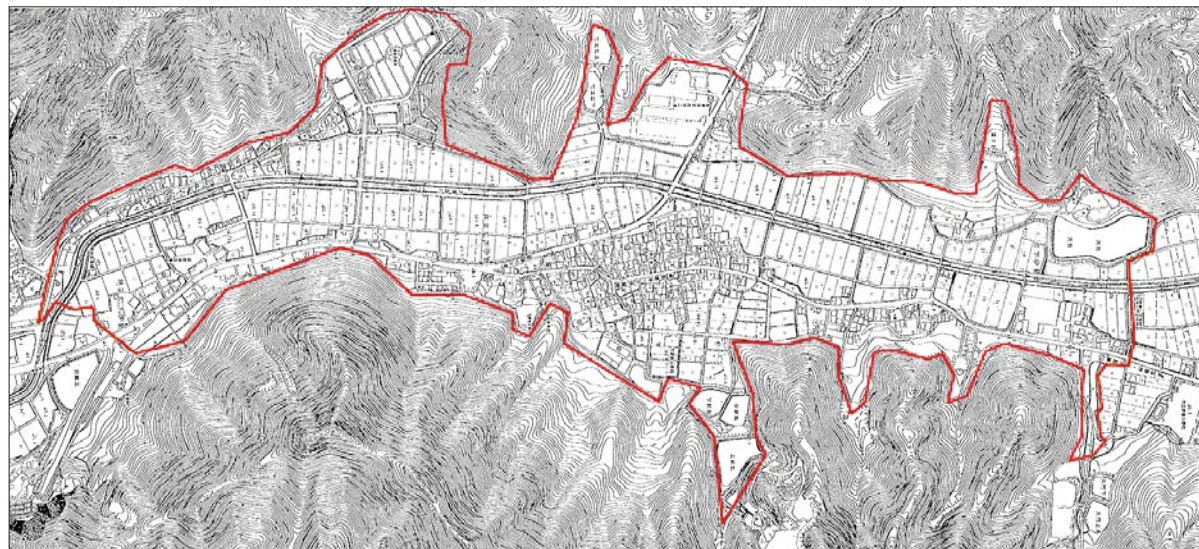
〈貸付先〉
■ JA出資法人
 JA出資法人による
新規の集積・集
約化



地区概要	姫路市の北西部に位置し、昭和50年代にほ場整備が完了した大津茂川の谷沿いの水田農業地帯。近年、不作付地が増加傾向にある。 (農地面積 39.7ha 農家戸数 78戸)
きっかけ	・県内でまとまった農地の借受を希望する企業に対し、農地中間管理事業を活用して農地の利用調整に取り組んだ。
工夫	・水稲不作付田を中心に、集落役員が集落内農地の利用調整を図った。 ・人・農地プラン作成と同時並行で事業を推進、参入企業を地域の新たな担い手に位置づけた。
成果	・農地を集約し、参入企業が希望した面積規模での貸付が実現し、不作付農地の活用が図られた。(約4.0ha・24筆:地権者18名)

実施前

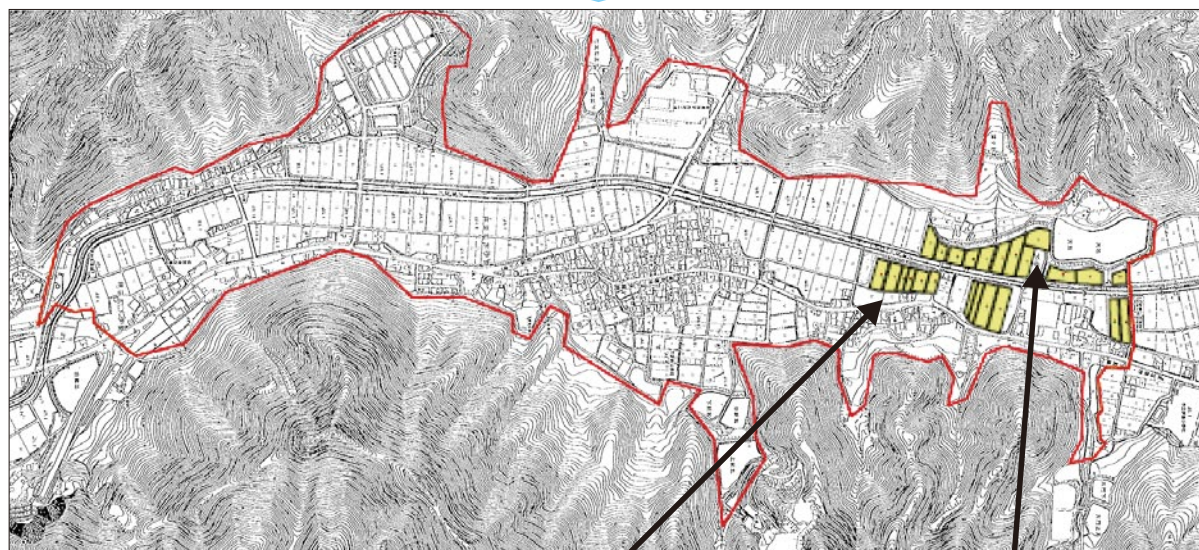
担い手の減少により不作付地が増加



実施後

〈貸付先〉
■ 農業参入企業

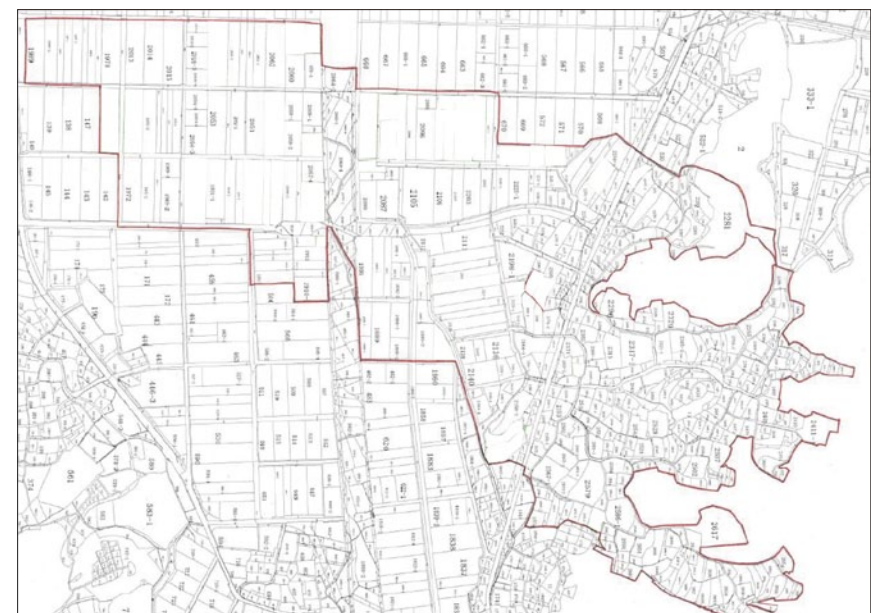
集落(農会)と参入企業が連携した集積・集約化



地区概要	福崎町の東部に位置し、水稲、小麦、町特産品のもち麦を主体とした農業を行っている。近年、地域の担い手の高齢化による経営規模縮小が進むことで、遊休農地の発生が懸念されている。 (農地面積 38.2ha 農家戸数 50戸)
きっかけ	・西大貫地区では、他地区からの新規就農者の受け入れを行い、平成25年に地域の5名の担い手と新規就農者1名を中心経営体として人・農地プランを策定し、農地中間管理事業を活用した新規就農者へ農地の集積・集約化に取り組んだ。
工夫	・地域の農業委員が出し手農家と新規就農者の間に入ることで、スムーズに農地の集積・集約を行うことができた。 ・新規就農者が耕作している農地に隣接した農地やほ場整備済みのまとまった農地の貸し付けを行った。
成果	・農地の集積・集約を進めたことで、新規就農者の規模拡大と作業の効率化が図られた。 ・地域の遊休農地の発生防止に貢献している。 【機構貸付面積 5.1ha (機構集積率13%)】

実施前

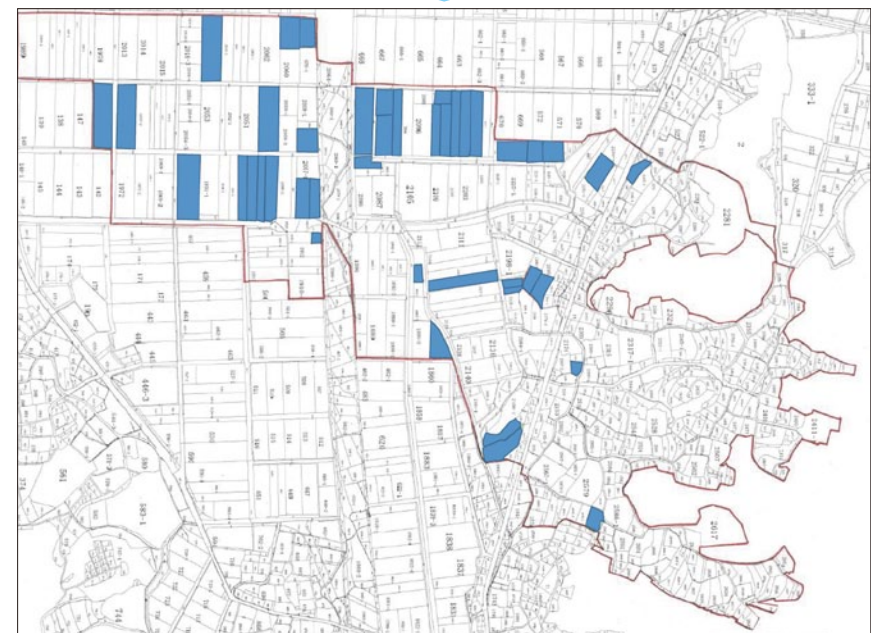
規模縮小、リタイア農家の増加により遊休農地の発生が懸念



実施後

〈貸付先〉
■ 新規就農者

新規就農者への集積・集約化



たつの市小犬丸地区 (地域内担い手のエリア別調整による集約化)

地区概要	たつの市西部に位置し、農業法人1社と2名の担い手が水稻、小麦、大豆を栽培。 (農地面積 40.1ha 農家戸数 84戸)
きっかけ	・自治会、農会等が地区の活性化を検討する中で、農地中間管理事業の活用による担い手への集積・集約化に取り組んだ。
工夫	・農会、営農組合と担い手の調整により、集積・集約化する農地の棲み分けを行った。 ・農地中間管理事業の活用に合わせて、自治会、農会、営農組合、担い手が協議し、賃料、水利費、草刈り、水路掃除等の方法について決定した。 ・営農組合が集落農業の運営に係る調整や担い手の補完を行った。
成果	・地区の非農家も草刈りや水路掃除作業に多く参加するようになった。 ・担い手の知り合いが集落外から農作業に参加するようになり、集落に活気がでてきた。 ・担い手への農地の集積が一気に進んだ。 【機構貸付面積 37.3ha (機構集積率93%)】

実施前

〈貸付先〉■大規模経営法人A ■大規模経営農家B ■大規模経営農家C



実施後

〈貸付先〉■大規模経営法人A ■大規模経営農家B ■大規模経営農家C



地域内の担い手のエリア別調整による集積・集約化

赤穂市福浦地区 (地域外担い手のエリア別調整による集約化)

地区概要	赤穂市南部の沿岸付近に位置し、2名の担い手農家により、水稻、飼料用作物、飼料用米等の栽培に取り組んでいる。 (農地面積 157ha 農家戸数 225戸)
きっかけ	・集約化に向けた地域内の合意形成を進めるため、相対契約から農地中間管理事業への切替誘導に取り組んだ。
工夫	・地権者との相対契約から農地中間管理事業への切替誘導と合わせた集約化の調整。 ・市、農業委員会、機構が連携して地権者への説明を実施。
成果	・市、農業委員会、機構が一体となって担い手、地権者との調整を行い集約化が進んだ。 ・農地保全に不安を持っていた地権者が多く、機構が間に入ることで不安解消につながった。 【機構貸付面積 24.8ha (機構集積率16%)】

実施前

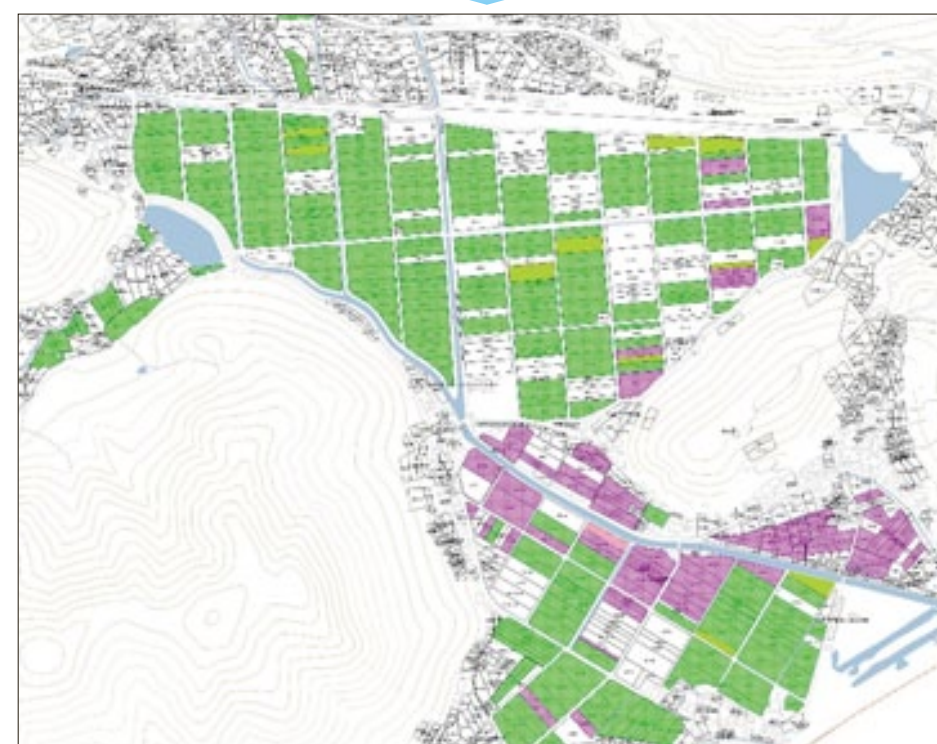
〈耕作状況〉
■大規模経営農家A
■規模拡大志向農家B



実施後

〈貸付先〉
■大規模経営農家A
■規模拡大志向農家B

相対契約から農地中間管理事業への切替による集約化と新規集積



事例14

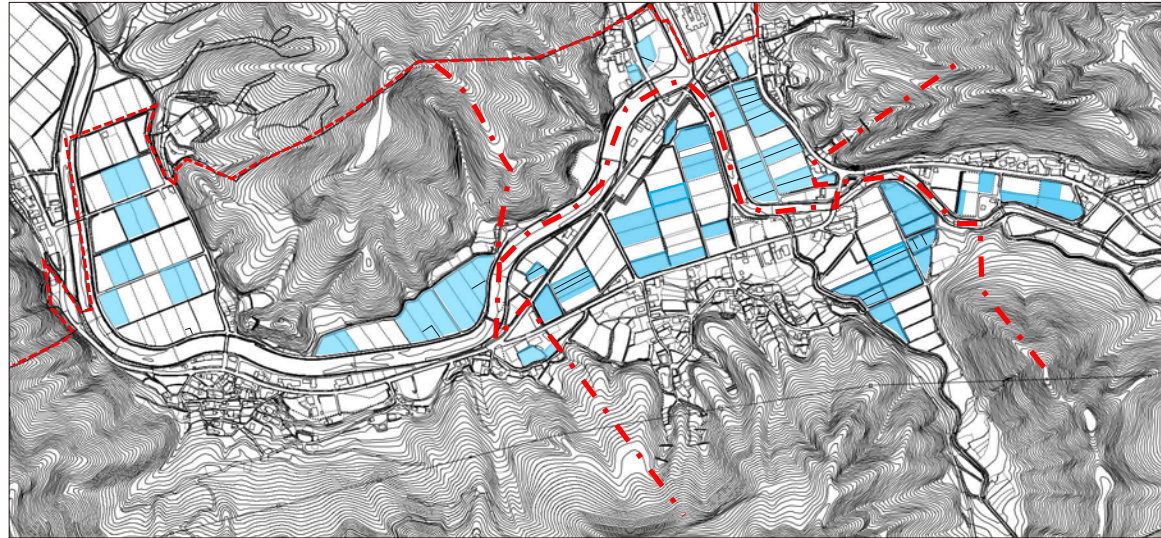
豊岡市但東地区 (大規模経営法人による集積・集約化)

地区概要	豊岡市の北東部に位置する但東地区は、三方を京都府に接し、農地の多くが中山間地となっている。また、早くからほ場整備が行われたが、平均区画面積は20aと狭小で畦畔も大きいため作業効率が高くない。主要な作物は水稻を中心に特産品であるそば、ピーマンの栽培が古くから行われている。 (農地面積 758.5ha 農家戸数 1,033戸)
きっかけ	・地域農業者と旧但東町の出資により平成16年に設立した法人が、人・農地プランの作成と併せ、農地中間管理事業による農地の集積・集約化に取り組んだ。
工夫	・農会、営農組合、認定農業者の代表が集まった「但東地域農業協議会」が但東地区の将来あるべき姿や具体的な取り組みを記した「但東地域農業ビジョン」を作成。 ・担い手への農地集積を推進するため、市と協議会が一体となって事業の推進を図った。
成果	・農地中間管理事業の活用により、農地を長期間で貸借することができるようになったことから、経営基盤の安定化が図られた。 ・協力金を活用し、獣害対策などを行った。 【機構貸付面積 25.4ha※7集落の合計】

但東地区内の代表集落

実施前

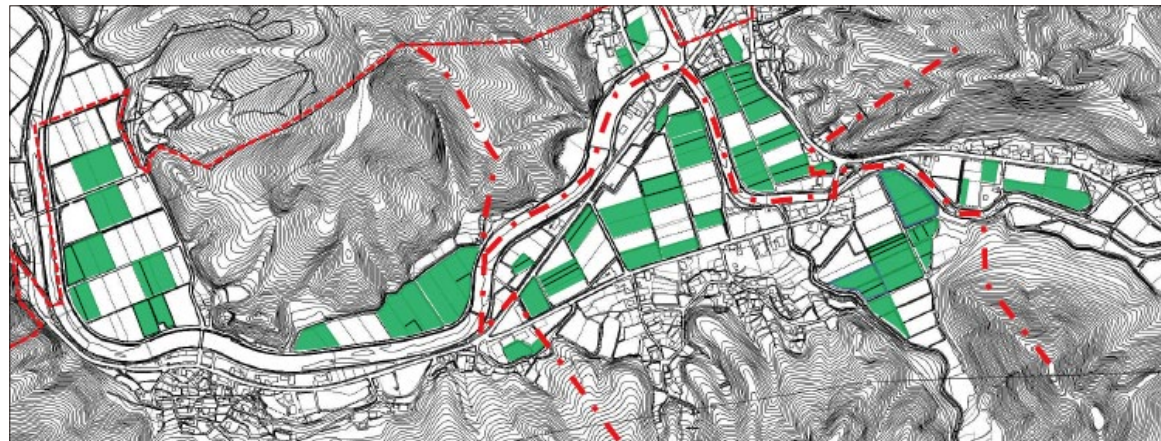
〈耕作状況〉
■大規模経営法人



実施後

〈貸付先〉
■大規模経営法人

大規模経営法人による
相対契約から農地
中間管理事業を
活用した集積・集約



事例15

養父市能座地区 (農業参入企業による中山間棚田での集積・集約化)

地区概要	養父市の南西部に位置し、中山間地域農業の改革拠点として国家戦略特別区域の指定を受けている。農地はほ場整備されているが、急傾斜地であり法面の管理が課題である。 また、高齢化率は48.3%と高く、人口減少と共に休耕田が増加している。 (農地面積 16.6ha 農家戸数 34戸)
きっかけ	・国家戦略特区の特定事業者として農業参入した企業が、農地中間管理事業を活用して、農地の集積・集約化に取り組んだ。
工夫	・農地を守るため、参入企業を快く受け入れ、地元の協力体制を確立。 (地区と参入企業が協力して休耕田の石拾いや鳥獣防護柵の設置作業を実施) ・地区役員を中心に何度も話し合いの場を設け、集積可能農地の確認を実施。
成果	・休耕田が活用され美しい棚田が復活し、集落も蘇りつつある。 ・メディア露出が増え、能座地区の知名度が上がった。 【機構貸付面積 7.7ha (機構集積率46%)】

実施後

〈貸付先〉
■農業参入企業

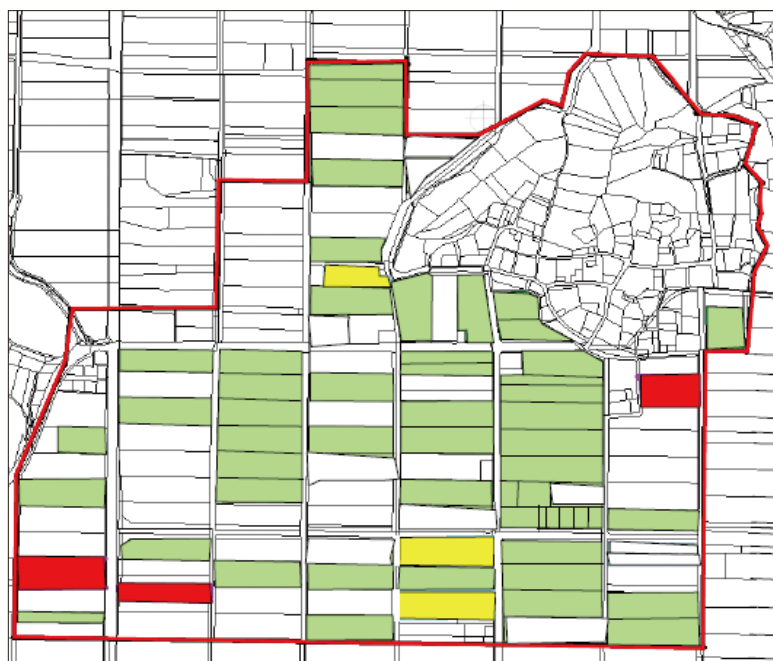


地区概要	篠山市の中心部に位置する口坂本地区は、大規模経営法人と規模拡大を目指す農業者を中心に耕作が行われている。 (農地面積 28.0ha 農家戸数 23戸)
きっかけ	・人・農地プランの作成を行い農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化に取り組んだ。
工夫	・地区の総意により、大規模経営法人と規模拡大を目指す農業者2名を人・農地プランの中心経営体に位置づけた。 ・草刈り、水管理がしやすいように農地の集積・集約を行った。
成果	・地域の担い手を明確にできた。 ・農地中間管理事業に取り組むことで出し手農家が安心して担い手に農地を貸すことができた。 ・担い手に農地を集積・集約することで、作業効率がよかった。 【機構貸付面積 15.2ha(機構集積率54%)】

実施前

〈耕作状況〉

- 大規模経営法人A
- 規模拡大志向農家B
- 規模拡大志向農家C

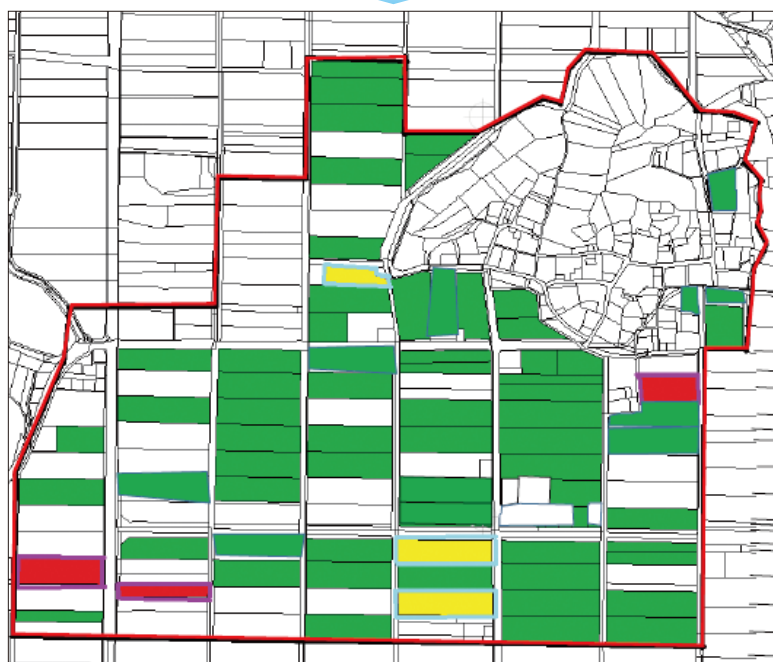


実施後

〈貸付先〉

- 大規模経営法人A
- 規模拡大志向農家B
- 規模拡大志向農家C

大規模経営法人による相対契約から農地中間管理事業への切替と新規の集積・集約化



地区概要	淡路市北部に位置し、国営北淡路地区農地開発事業により農地造成された地区。社会情勢の変化や農家の高齢化、担い手不足により約40%が遊休農地となっている。 (農地面積 46.8ha 農家戸数 30戸)
きっかけ	・遊休農地の解消に向けて土地改良区と連携し、農地中間管理事業を活用した農業参入企業等とのマッチングに取り組んだ。
工夫	・地元土地改良区のリーダーシップにより、農地調整が図られた。 ・県事業の活用により耕作放棄地の解消を行った。
成果	・地元農業参入企業と地元製麺業者が農商工連携促進法の認定を受け、パスタ用の小麦の栽培を実施し、県内初となるパスタ用小麦の産地化に結びついた。 ・耕作放棄地を農地に再生することができた。 ・パスタ用小麦を地産地消する新たなビジネスのきっかけとなった。 【機構貸付面積 1.1ha】

実施前



実施後



再生工事中

